

## 日本ウマ科学会 2025 年度理事会 議事録

日時 : 2024 年 11 月 25 日 12 時 40 分から 13 時 20 分

場所 : KFC Hall & Rooms : Room 101-103

出席者: 会長 青木 修  
副会長 田谷一善・高橋敏之  
常任理事 加藤智弘・半澤 恵・楠瀬 良・近藤高志・桑原正貴・平賀 敦・  
佐々木直樹  
理事 上田 毅・河合正人・遊佐繁基・松田芳和  
監事 末崎真澄・坂東義和  
事務局 福田健太郎

加藤庶務担当常任理事による開会の辞に続き、会則第 20 条に基づき青木会長が議長となり、理事 18 名（うち委任状 4 名）の出席により本理事会が成立したことを宣言。2025 年度理事会が開催された。なお、議事録署名人に遊佐・松田両理事を指名した。

また、本理事会に併せて、評議員会も開催された。

議題 I および II が一括上程された。

議題 I 2024 年度事業報告（案）について

加藤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 正会員数は 34 名増加。名誉会員、賛助会員の増減なし。
- 選考委員会を通して功労賞に 1 名が選考された。
- 出版関係は Journal of Equine Science を 4 号、Hippophile を 4 号それぞれ発刊配布した。また、ウマ用語集を改訂し、既存会員の希望者および新規会員に配布した。
- 学術集会を KFC Hall & Rooms にて 2 日間開催し、一般会員 267 名を含む 393 名が参加した。
- 国際交流促進事業に対し 2024 年後期に 1 件の応募があり採択された。
- 広報関係は、ホームページサーバーの安定性を強化し、積極的な情報発信を行った。
- ICEEP12 の 2026 年国内開催に向け、開催組織委員会およびワーキンググループとして準備を進めた。

議題 II 2024 年度収支決算（案）について

半澤会計担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 会費収入が前年より増。
- 賛助会員 1 社の納付がなかった。
- 学会参加人数が増え、参加費収入が増加。
- 企業展示収入は過去最高額。
- 臨床委員会 DVD が売り上げを伸ばし、雑収入が増。
- PC 購入により備品費が増。
- JES への投稿が減っており、ページ数が減ったことにより出版刊行事業費支出が大幅に減少。
- 本来前年度に支払われる、学会における招待外国人講師の旅費が、2 人とも講演当日の現金支払いを希望したため、講師の交通費が増。

- ICEEP12 の関連の支出として、国際学会対応費が発生。内容は大会ロゴ作成費。
- 2024 年度の決算は約 53 万円の黒字。前年より減少。

次いで監査報告が行われ、坂東監事から 2024 年 11 月 6 日に業務監査した結果、事業が適正に運営されている旨の報告がなされた。

その後、議題ⅠとⅡは原案通り承認され、定時総会に上程することとなった。

続いて議題ⅢとⅣが一括上程された。

#### 議題Ⅲ 2025 年度事業計画（案）について

加藤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 表彰関連では、(有)エスティファーム・小見川の小檜山悟会員（元調教師）が功労賞を受賞し、明日の定時総会後に表彰式を開催。
- 出版関係は、例年通り 4 号ずつ発刊予定。
- 本年度の学術集会ではクレジットカード決済による事前登録制を導入。なお本年度も新規入会促進策として、一般非会員の参加者全員に年会費なしでの入会特典を付与する。
- 国際交流促進事業については、例年通り前期、後期に分けて募集。
- 認定馬臨床獣医師関係では、認定試験を 6 名が受検予定。認定取得して 5 年が経過した者の更新手続きを 12 月に実施予定。
- 2026 年に日本で開催される予定の ICEEP12 について、開催組織委員会およびワーキンググループとして引き続き活動予定。

#### 議題Ⅳ 2025 年度収支予算（案）について

半澤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 会費収入は前年度末（10 月 31 日）における国内の会員数の 95%が支払うことを想定し、865 名が 5,000 円納めることとし 4,325,000 円を計上。賛助会員は既に一般財団法人 Thoroughbred Aftercare and Welfare (TAW) が入会予定で 21 社 22 口となり、1,100,000 円を計上。
- 学術集会参加費収入は、10 月 31 日現在の全参加登録数 186 名の 1.1 倍を想定し、204 名参加と考えずべて一般会員とカウントし 1,224,000 円として計上。
- 事務担当従事員が通年で 1 名となるため、人件費を減額。
- コロナ後の会議増を見込み、会議費を増額。
- JES・Hippophile 編集委員会におけるアイペックの管理費を支払うことになったため、出版刊行事業費の会議費を増額。
- 学術集会同会場費の増額、参加登録システムの外注費用がかさみ、大会開催費は大幅増。
- ICEEP12 関連収支は別会計となることから、国際学会対応費は計上せず。
- 認定馬臨床獣医師会計の収入は前年度の数字を参考に 6 名受験として受検料収入 90,000 円を計上。ほか、更新対象者 15 名の 7 割が更新を行うと仮定し、更新料収入を 77,000 円計上。


その後、議題ⅢとⅣは原案通り承認され、定時総会に上程することとなった。


その他、川崎会員より国際交流促進事業における支援金増額の提案があり、今後常任理事会において

検討することとした。

以上、議事の顛末を記録し、これを証するため署名押印する。

2024年12月9日

議長 青木 修 

議事録署名人 遊佐 繁基 

議事録署名人 松田 芳和 